

## 隔離床を用いた高糖度トマト生産における生理障害対策

藤村耕一・松崎朝浩・野田啓良

香川県農業試験場研究報告 第 61 号(2010 年 3 月) 13-19

1. 隔離床を用いた低水分管理による高糖度トマト生産において、一部の現地で発生した葉の黄化と新葉の枯死の対策として肥料中の成分との関係を検討した。  
葉の黄化は硫酸根濃度の低い養液土耕用肥料を用いたことによる硫黄分の欠乏と考えられ、硫黄分を含む肥料の施用によって改善された。
2. 新葉の枯死は養液土耕用肥料に含まれる尿素が関係すると考えられ、硝酸態窒素を主体とする肥料の施用によって改善した。
3. 養液土耕用肥料に比べて硝酸態窒素比率が高く、硫黄分を多く含む様に改良した隔離床用肥料は、葉の黄化、新葉の枯死の発生がなくなり、収量が向上した。

キーワード：トマト，高糖度，生理障害対策，葉の黄化,新葉の枯死，隔離床用肥料，養液土耕